

非金属・屋根壁用:下地材

クールシーラー

系統 遮熱用エポキシ樹脂



塗装条件

塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希釈率	無希釈
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.10~0.17kg/m ² /回

注) 上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。
標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目	温度	
	最短	最長
標準塗布間隔	16時間以上	7日間

塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	14kg
2	混 合 比	1液(無希釈)
3	色	白色
4	つ や	—
5	臭 い	溶剤臭
6	仕 上 が り 感	平滑
7	比 重 / 密 度	0.9~1.1 (g/cm ³ /23℃)
8	溶 剤 比 重	—
9	加 熱 残 分	32~44 (%)
10	粘 度	600±400 (mPa・s/23℃)
11	劇 物 表 示	—
12	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	エタノール、エチルベンゼン、キシレン、 酸化チタン、1,3,5-トリメチルベンゼン、 1,2,4-トリメチルベンゼン、ミネラルスピ リット
13	使 用 有 機 溶 剤 種 別	第三種
14	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 引火性液体第2石油類
15	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ①遮熱性能を持つ下地材です。アドグリーンコートとの併用でより大きな遮熱効果を期待できます。
- ②反応硬化型エポキシ樹脂系シーラーなので、密着性に優れています。
- ③臭気がマイルドで、既存塗膜の縮みや溶解が少なく、幅広い旧塗膜に適応します。
- ④1液無希釈タイプなので取り扱いも簡単です。

主な適用素材

コンクリート、モルタル、スレート板、サイディング板、ALCパネル、新生瓦など

適用旧塗膜

リシン・吹付タイル および アクリル樹脂エナメル・ポリウレタン樹脂塗料 など

注) 既存塗膜が2液溶剤系ふっ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

使用上の注意事項

- 1) 油脂類をシンナーで拭き取り、汚れ・塵埃などの汚染付着物を除去清掃してください。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など)
- 2) 取付金具・フックボルトなどは、さび止めを刷毛で拾い塗りしてください。
- 3) チョーキング・汚れ・塵埃などの汚染付着物を高圧水洗で除去してください(板の重なり部や隙間・溝・金具周辺は入念に清掃してください)。
- 4) 事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 5) シーリング材への塗装は、塗膜の硬化不良・割れ・剥がれ・汚染の恐れがある為、原則不可です。
- 6) 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は塗装を避け、コンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、水分8%以下、ph10以下になるまで十分に乾燥させて下さい。
- 7) 塗装中及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露、強風等が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- 8) 各標準施工仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守し、材料を取り扱う場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守して下さい。
- 9) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 10) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますので、予めご了承ください。